

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：陽だまりの森

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護 (該当に■)

日時：令和8年 1月 21日 (水曜日) 13時30分～14時10分

場所：陽だまりの森 多目的室

出席者： 3人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	0人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人		
事業所職員 (職名：管理者)			1人

報告事項：

利用者の状況

① 入所者 2ユニット 18名 1ユニット 9名

② 要介護度 平均 要介護 1.7

③ 男女比率 男性 0名 女性 18名

④ 年齢 平均年齢 89歳 最高齢 101歳

⑤ 地域別利用

大田町 2名 久利町 3名 三瓶町 3名 長久町 1名 久手町 3名

川合町 2名 波根町 1名 仁摩町 3名

1 活動状況報告

11月～1月までの活動報告、1月～3月にかけての今後の活動予定、その他の項目として、要介護5の利用者が特養入所、新たに要介護3の利用者の入居の報告、月1回の介護相談員訪問が現在中止となっている報告(先方の希望)、食材料費の利用者負担の増額について承認をもらった。

2 意見、要望等

○委員より

頻回の身体拘束委員会についてどのような内容のものか

返答

3ヶ月に1回法人の中でヘルパー事業所、グループホームでの身体拘束、虐待の有無、それぞれの部署での研修計画、研修資料等の話し合いを実施している

○委員より

数日天気の良い日があったが外出等実施をされたか

返答

天気は良かったが風が冷たく、玄関の外には出たが利用者よりやっぱり寒いと訴えにて中止した

○委員より

入居希望待機者はおられるか？他事業所では入居希望があり声をかけてももう少し自宅で生活するとキャンセルが多いと聞いているが

返答

待機者は数名おられる。しかし待機者の中には声をかけたときに上記のような回答をされる方もおられるのが現状。申請時にケアマネから入居は時間がかかると説明を聞いておられる方がほとんどで、1～2年くらいの入居を目途に考えておられる方が多い。今はいいけどいずれはという気持ちで申請をされる為、早々に声をかけると断られるケースが多い。

○委員より

BCP研修についてどのようなやり方をされているのか？（他事業所でBCP研修についてどうしたらよいかわからない、市の方で何か研修方法等の指導等をしてもらえないかと問い合わせがあった）

返答

法定研修、BCP 研修だけでなくハラスメント等色々な研修動画の案内が来ており、上司が情報提供をしてくれている。その中からいくつか抜粋して動画視聴という形で研修を行っている。BCP 研修についても動画研修や机上訓練、実動訓練を行っている。BCP に関してはそれぞれの事業所の環境や体制があるので、職員が意見を出し機能するものを作っていないといけないと上司から指導を受けている。

○委員より

- ・食材料費についての増額について、ここ数年で物価高騰が続いている中、今まで増額されず事業所負担があったのではないかと。増額について承認します。
- ・1日90円の増額で事業所としては大丈夫なのか？良心的だとは思いますが・・・
- ・物価高騰がある中で、行事食等利用者が楽しみにされている部分を継続しようと思えば現状として増額は避けられないと思う。
- ・増額については現状仕方ないかと思えます。利用者家族様へきちんとご理解、納得していただいてください。

食材料費について承認とご意見をいただきました。（本日欠席された推進委員の方は電話にて承認、ご意見をいただきました。）

・次回 R8.3.18（水曜日） 13：30～14：00

以上